



札幌ドーム 20%の節電対応の実施について

北海道内における電力供給の不足を受け、節電を行います

札幌ドームでは、このたびの北海道胆振東部地震による北海道内における電力供給の不足を受けまして、節電対応を以下の通り実施し、20%の節電を行います。ご来場のお客さまにはご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

（1）実施期間

2018年9月14日（金）から

（2）節電の内容 ※イベントにより取り組み内容が一部変更となる場合があります。

- ・アリーナの照明減灯
- ・空調機の一部停止
- ・館内コンコース等の照明減灯
- ・展望台エスカレーター装飾照明の消灯
- ・敷地内の照明減灯 など
- ・自家発電設備（発電出力 計 600kW）による電力の確保
- ・一部施設（トレーニングルーム、駐車場）および敷地開門時間の時間短縮営業
- ・館内トイレの洋式便座ヒーター停止

（3）その他

平素から実施している以下の取り組みは引き続き継続・強化し、可能な限りの節電に努めてまいります。

- ・自然採光の積極利用（アリーナ照明点灯数・点灯時間の抑制）
- ・自然換気を利用した外気冷房と夜間の躯体蓄冷（冷房用エネルギー消費の抑制）
- ・深夜電力を利用した冷房用冷水の確保（電力需要の平準化）
- ・太陽光発電設備（発電出力 最大 90kW）による電力の利用
- ・事務所エリアにおける節電対応の徹底（照明減灯・離席時のパソコン電源オフ など） など